

砂防堰堤が人家、人命を守る (群馬県東吾妻町)

事業者：群馬県

災害時に効果を発揮した3か年緊急対策の事例



対策後(土石流捕捉後)

大沢川砂防2号堰堤



対策前



対策後



対策名：No.7 全国の中小河川における土砂・洪水氾濫等の危険性に関する緊急対策

事業名：防災・安全交付金（通常砂防事業）

- ポイント**
- 3か年緊急対策により砂防堰堤の整備を前倒し実施
 - 家屋や公共施設、国道、鉄道を土砂・流木の流出による被害から保全

地域の概要・課題

大沢川は下流の氾濫域に多数の家屋や公共施設を抱える溪流です。

溪流内は荒廃が進んでおり、土石流等が発生した場合には大沢川から流出する土砂・流木により、下流の一級河川吾妻川が閉塞し、土砂・洪水氾濫等の発生する危険があります。

事業の概要

溪流内の荒廃が進み、土砂・洪水氾濫等により被災する危険性が高い箇所であり、多数の家屋や公共施設、国道、鉄道を土砂・洪水氾濫等による被害から保全するため、砂防堰堤の整備を3か年緊急対策として実施しました。

効果

令和元年東日本台風では、連続雨量322mm、時間最大降水量39mmを観測しました。

令和元年東日本台風により土石流が発生しましたが、砂防堰堤が整備されており土砂及び流木を捕捉し、下流地区への被害を未然に防止し効果を発揮しました。



I-1 大規模な浸水、土砂災害、地震・津波等による被害の防止・最小化

I-2 救助・救急、医療活動などの災害対応力の確保

I-3 避難行動に必要な情報等の確保